

第4節 館外奉仕

1 移動図書館および貸出文庫

昨年度更新した“あづま号”も巡回路線に定着した感ありということで、当初の計画どおり、延 160日にわたる巡回をスムーズに実施することができた。

特に資料面において新しいしかも時代感覚にマッチしたものであるということで、当然のこととは言え古いものをとりのぞいて、絶えず利用者の希望に添え得るような選書につとめ、冊数的には昨年度とは変わらないにしても、密度の濃いサービスが実施できたことは喜ばしい。年にわずか3～4回の巡回であるから、ともすれば形式的にならないでもないが、それを館員の努力によっておこなったということである。しかしこれとてもおのずから限度があり、150万円程度の図書費では、方法論、努力だけでは解決もむずかしく「市町村のことは市町村の手で」と言う前に、もっと県としても十分な手をつくす必要があるものと思われる。

県下くまなく巡回ということは市町村の読書施設の活動をかん起させることもあるが、この点については各方部とも数年前に比し、形をなしてきたように見うけられる。しかし弱小町村に対する巡回奉仕はまだまだ行なわれなければならないことは当然である。利用状況は〔表9～11〕に示すとおりであり、現体勢における限度である。

2 普及文化事業

(1) 著者と読者のつどい

第17回福島県図書館大会と同時に図書館、公民館関係者および利用者が一同に会し、広く県民の生活、産業、文化等に役立つ資料と情報を提供する役割等について諸問題を討議した。

- と き 昭和44年9月26日(金)
- と ころ 会津若松市立会津図書館
- 記念講演 「私の見てきた外国の婦人生活」
評論家 上坂冬子

○研究討議

第1部会 図書館部会

- ① 図書館拡充をはかるにはどうしたらよいか
- ② 学校図書館と公共図書館との関係について

〔表9〕 移動図書館利用状況(昭44・4～45・3)

コース別	信夫	伊達	安達	田村	岩瀬	石川	西白河	東白川	耶麻	両沼	南会津	相馬	双葉	計
巡回数	4	4	4	4	3	3	4	4	3	3	3	3	3	
駐車場数	19	26	30	23	9	11	15	4	21	14	9	7	11	199
利用団体数	48	64	75	39	11	15	20	14	29	28	9	8	18	378
利用冊数	4,326	5,919	5,904	4,423	1,499	1,865	2,821	2,279	4,507	3,835	2,369	1,231	2,630	43,608
市町村別内訳	福島 2,913	桑折 1,291	二本松 1,111	小野 1,152	須賀川 198	石川 755	矢吹 207	埴 638	喜多方 321	本郷 175	下郷 899	飯館 309	葛尾 240	
	飯野 408	国見 1,014	安達 591	大越 375	岩瀬 98		大信 318	矢祭 526	北塩原 846	会津高田 929	只見 710	鹿島 250	浪江 512	
	川俣 1,005	梁川 492	大玉 345	都路 355	長沼 268	平田 516	東 257	鮫川 505	西会津 1,418	新鶴 213	南郷 238	原町 174	双葉 342	
		保原 852	本宮 1,592	滝根 868	天栄 802	玉川 594	中島 271	棚倉 610	高郷 585	湯川 307	伊南 203	新地 269	大熊 396	

③ テレビと読書、親子読書の方法等の問題点

第2部会 公民館図書部会

- ① 公民館図書部活動のマンネリ化を克服する手段について
 - ② 購入図書の活用と利用者の拡充について
 - ③ 公民館図書部が公民館でいかに位置づけられているか
 - ④ 独立図書館への移行を妨げている問題点
- ##### 第3部会 利用者部会
- ① 図書館利用の問題点
 - ② 読書会を拡大するために考えられること
 - ③ 官能刺激雑誌、無価値に近いマンガなどから青少年を守る運動は可能か
 - ④ 読書を妨げる要因の排除と方法について

(2) 第15回地方史研究講演会

- と き 昭和44年11月14～15日
- と ころ 白河市中央公民館、白河市立図書館
- 講義と講師 「中世の白河地方」
福島大学助教授 小林 清治
「白河藩政」
前福島大学教授 庄司吉之助
- 研究発表 「白河藩史料の調査」
白河市 須釜 善勝
「白河藩政史」
須賀川市 永山 金造

白河地方を中心としちテーマで実施、特に白河市立図書館を会場とした「白河藩文化史資料展」には重欧堂田善(文政5年死)の銅版画や文化財指定の絹本「楽翁公画像」のほか数多くの資料が展示され、一般市民の見学者でにぎわった。参加者 150名

(3) 第2回福島県公共図書館職員研修会

- と き 昭和44年11月19～20日
- と ころ 福島市中央公民館、福島県立図書館
- 講 義 「図書館利用を多くするにはどうしたらよいか、そのための整理方法等はどうあるべきか」
郡山市図書館司書 佐藤 晃二
- 見学実習 福島県立図書館
- 参加者 二本松市中央公民館 大槻須美子外28名